SuMPO環境ラベルプログラム
一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区内神田1-14-8
https://ecoleaf-label.jp

芙蓉オートリース株式会社
FUYO AUTO LEASE CO.,LTD

バッテリー復元サービス「MOTTA」
Battery Regeneration Service "MOTTA"

算定単位

製品1個当たり（容量350Ah(/5h)）

算定対象段階

■最終財　　□中間財

①原材料調達、②生産、③流通、
④使用・維持管理、⑤廃棄・リサイクル

製品の型式、主要仕様・諸元

製品質量：527.4kg

バッテリー容量：350Ah(/5h)

納品単位：バッテリー1台

（1台当たりのセル数は24個）

※この数値は、2019年度に株式会社イグアスが再生したバッテリーの平均値であり、個別の製品の数値を表すものではありません。

問い合わせ先

芙蓉オートリース株式会社
270-0222
千葉県野田市木間ケ瀬572

登録番号	JR-BG-21001C-A
適用PCR番号	PA-623210-BG-01
PCR名	復元鉛蓄電池
公開日	2021年3月11日
検証合格日	2021年2月10日
検証方式	個品別検証方式
検証番号	JV-BG-21001C
検証有効期間	2026年2月9日
PCRレビューの実施	
認定日等	2021年 1月 18日
委員長	山岸　健
	（一般社団法人サステナブル経営推進機構）
第三者検証者*	
外部検証員	奥山　哲也
ISO/TS14067に従った本宣言及びデータの独立した検証	
□内部　　■外部	

*システム認証を受けた事業体内の検証の場合は、システム認証を行った審査員の名前を記載。

カーボンフットプリント（CFP）
CFP宣言

登録番号： JR-BG-21001C

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構
東京都千代田区内神田1-14-8
https://ecoleaf-label.jp

①CFP算定結果

算定単位　製品1個当たり（容量350Ah(/

項目		数値	単位
CFP算定結果		3500	kg-CO_2eq
内訳	①原材料調達	15	kg-CO_2eq
	②生産	230	kg-CO_2eq
	③流通	44	kg-CO_2eq
	④使用・維持管理	3100	kg-CO_2eq
	⑤廃棄・ﾘｻｲｸﾙ	81	kg-CO_2eq
数値表示		3500	kg-CO_2eq
表示単位：		製品1個当たり（容量350Ah(/5h)）	

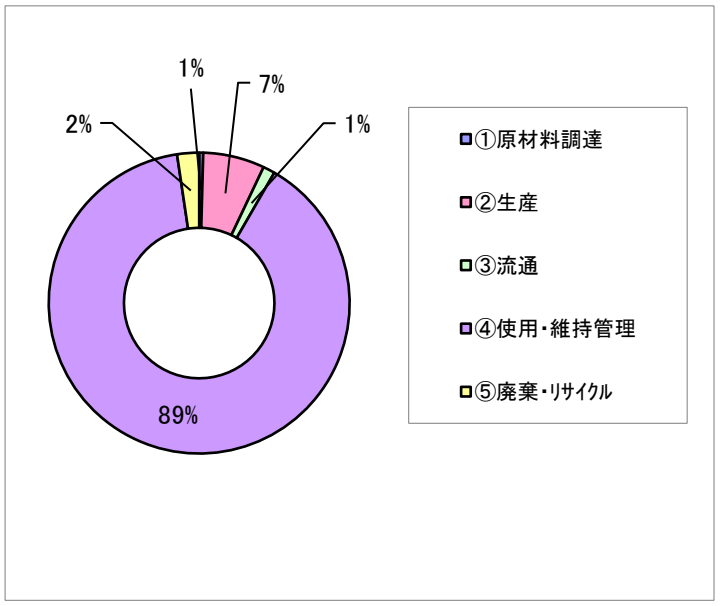
※端数処理により、CFP算定結果と内訳の合計値は若干異なる場合があります。

③その他の環境関連情報

◆低CO2川崎ブランド'20認定製品
◆2020年度川崎メカニズム認証

※低CO2川崎ブランド'20認定製品：
原材料調達から廃棄・リサイクルまでのライフサイクル全体を通じて従来製品等と比較し、CO2がより削減された川崎発の製品・技術等を川崎市が認定する制度

②算定結果に関する追加情報



①復元鉛蓄電池の平均容量は350Ah(/5h)、平均電圧は48Vとした。
②上記数値は、2019年度に株式会社イグアスが再生したバッテリーの平均値であり、個別の製品の数値を表すものではない。
③フォークリフト用鉛蓄電池の使用シナリオとして、「1日当たりの放電率を75%」、「年間の稼働日数を300日」、「放電量に対する充電率を120%」、「充電器の効率を85%」とした。（出典：GSユアサ社「電気車用鉛蓄電池・充電器　Vシリーズ」、昭和電工マテリアルズ社「電動車用鉛蓄電池　SUPER　リフトトップ ECO」製品カタログ）
④復元した鉛蓄電池の想定使用期間は、上記使用シナリオを基にした新品鉛蓄電池の想定使用期間（4年間）の8割の「3.2年間」とした。
⑤提供した復元鉛蓄電池の保守は実施しない。

④CFP算定結果の解釈

◆使用・維持段階におけるCO2の排出が89%と最も多くなりました。その内の主な排出源は、鉛蓄電池の使用に際する電力消費であることがわかりました。
◆生産段階におけるCO2排出量が7%となり、使用・維持段階の次に多くなりました。使用済み鉛蓄電池の復元処理に使用する電気などのエネルギー使用が主な排出源であることがわかりました。廃棄・リサイクル段階におけるCO2排出量は2%となりましたが、使用済み鉛蓄電池の処理についてはPCR11-4のシナリオに従い投入した全量を産業廃棄物として廃棄・リサイクル処理することとして算定しています。
◆原材料調達段階におけるCO2排出量が1%と最も少なくなりました。復元鉛蓄電池の原材料は使用済み鉛蓄電池であり、主な排出源は使用済み鉛蓄電池の回収に係る輸送であることがわかりました。
◆CFP算定に当たり、製品重量、製品輸送量等は当社データを利用していますが、復元された鉛蓄電池の使用シナリオは利用者によっても異なり使用時の一次データの収集は困難なため、使用段階におけるデータは鉛蓄電池の製造メーカーが提供している一般的なデータを利用しています。そのため、当製品固有の特徴を反映していない場合があることから、この結果は概算値としてご理解ください。

⑤使用した二次データの考え方

IDEA　v2.1.3を使用した。

⑥備考
2025年3月1日　当該登録製品の事業譲渡があったため、事業者をイーストン株式会社へ変更 2025年3月31日　当該登録製品の事業譲渡があったため、事業者を芙蓉オートリース株式会社へ変更

●データ算定の方法は、PCRおよび算定・宣言規程を参照してください。

●比較については、算定・宣言規程に規定された条件を満たした場合にしか認められません。

（参照先URL：https://ecoleaf-label.jp/regulation/）

●製品の提供により生じる気候変動以外のその他の潜在的な社会的／経済的／環境的影響の評価は行っていません。

登録番号： JR-BG-21001C-A